

広島県は日本で一番、土砂災害のリスクが高い地域

《過去100年災害のない所でも災害は起こる》

【準備】

- ① ハザードマップを見て、避難所を探す ② 連絡先を調べておく
- ③ 安全な避難経路を決めておく



【避難】

- ① 雨量が100mmを超え、土砂災害警報情報が出ていれば自主避難
- ② 山鳴り、山から小石は土砂災害の前触れ ③ 避難は2人以上で

【参考】

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）：生命や身体に危害が生じる恐れがある

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）：建設物が損壊する恐れが更に高い

3. 山根町東部町内会の防災の課題

1. 土砂災害

- (1) 急傾斜地が多くがけ崩れの危険性が高い
- (2) 破壊的な土石流発生危険性
- (3) 大量出水の懸念

2. 地震災害

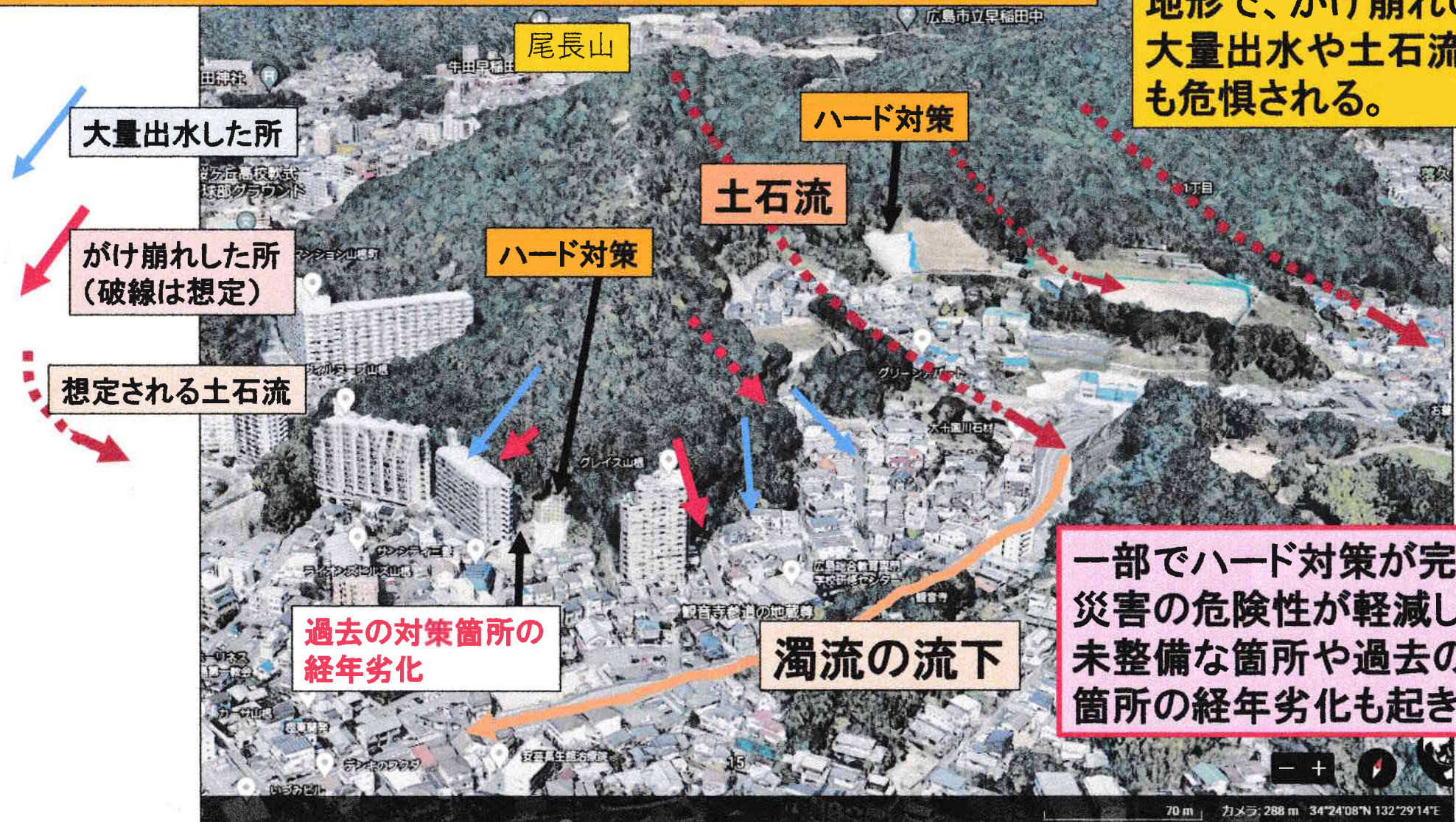
- (1) 急傾斜地の下では、
がけ崩れと巨石の崩落に注意
- (2) 盛土造成地の地盤損傷
地割れ、陥没、地すべり
擁壁の崩壊と土砂災害
- (3) 震度5強以上のゆれ
耐震補強・家具の固定
ブロック塀の倒壊
急傾斜地対策工の問題

3. 避難の呼びかけ体制づくり



山根町東部町内会のふかん図(南側から)

急傾斜地が多い谷あい
の地形で、がけ崩れのほか、
大量出水や土石流の発生
も危惧される。



一部でハード対策が完了し
災害の危険性が軽減したが
未整備な箇所や過去の対策
箇所の経年劣化も起きている

山根町東部町内会のふかん図(北側から)

谷埋め造成の可能性がある所

過去の対策箇所の 経年劣化

小地すべり

団地によっては、谷埋め造成を行った形跡も見え、地震時に地盤の移動や地割れ、擁壁の損傷などが起きる可能性がある団地もある。

山根町東部町内会の防災の課題

急傾斜地が多い谷あい
の地形で、**がけ崩れ**のほか、
大量出水や**土石流**の発生
も危惧される。

大量出水した所

がけ崩れした所
(破線は想定)

想定される土石流

土石流

濁流の流下

この災害を未然に防ぐ力は
必要なハード対策と早めの避難、
共助＝地域の共同体づくり

一部でハード対策が完了し
災害の危険性が軽減したが
未整備な箇所や過去の対策
箇所の経年劣化も起きている

災害は予測を超えたところで起きます。

避難とは、難を避けること。

必ずしも、避難所に行くことではありません。

早めの避難で
身の安全を。

自分のまわりをよく知る

科学的な判断で、早めの避難

(水平避難・緊急退避・垂直避難)

イエローゾーンはレベル4で必ず避難行動

(高齢者等はレベル3で避難行動)

今は分散避難
も必要です。

避難のきっかけ ← 「声かけ」